

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体			
自主防災活動推進事業				美原区自主防災連絡協議会			
事業目的		事業効果		活動指標	R3	R4	R5
美原区域内の自主防災組織相互の連携を密にし、自主防災体制の充実、強化を図ることを目的とする。		地域防災力の向上を図るため、講習会等を実施し、安全、安心なまちづくりに繋げる。		防災講習会等参加者数	47	49	40
				防災マイスターが訓練指導者としての参加者数	-	-	-
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	自主防災の推進を図るため、区と協議会とが協働し、事業を通じて、安全・安心なまちづくりに向けた取り組みを行うことは妥当性がある。	◎	美原区長と各校区自主防災会から選出された構成委員自らが、企画・運営する事業であり、区民や区域の団体との協働で実施している。	◎	区内の防災士等を対象に、総合防災センターにおいて美原消防署(救急隊員)による心肺蘇生訓練や、応急処置訓練を実施した。 また、指定避難所の備蓄コンテナについて、すべての小学校でラックを設置し整理整頓を行った。	○	各校区の自主防災会からも費用負担をしてもらい、運営に必要な費用の一部を充当している。 また、事業実施に伴う支出については、最小限に抑える努力をするなど効率的に執行している。
⑤自立発展性		総合評価					
○	事業の適正・効率性、市民の主体性の観点から、区の役割と協議会の役割を明確にし、市民の主体性が求められるものは、できるだけ自立発展を求めている。	◎	今年度も、従来、実施されていた大掛かりな防災訓練を実施する地域がなく、防災マイスターによる訓練指導の機会はなかったものの、上記の講習会については、無事に実施することができた。 また、人材育成のため、防災士資格の取得を支援する事業を実施し、結果、6名の防災士を養成することができた。 単位自治会の会館等が持つ一時避難所としての機能強化のあり方について協議・検討し、次年度以降の方針を決定することができた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	地域防災の中心的な役割として活躍されている方に対して、防災講習会等を実施し、防災に関するスキルアップを図っていただく。また美原区防災マイスターによる訓練指導を行うことにより、指導者としての経験の場を設け、人材育成を図っていく。 また、自主防災組織の組織面では、自主防災組織相互の連携を密にし、自主防災体制の充実、強化を図ることを目的に事業を実施していく。 単位自治会の会館等が持つ一時避難所としての機能を強化するため、災害時に機能する情報ネットワーク及び必要な資機材を整備していく。						